

アキュラシー

場所	人数	対象年齢	運動強度
屋内	2人以上	誰でも可	軽度

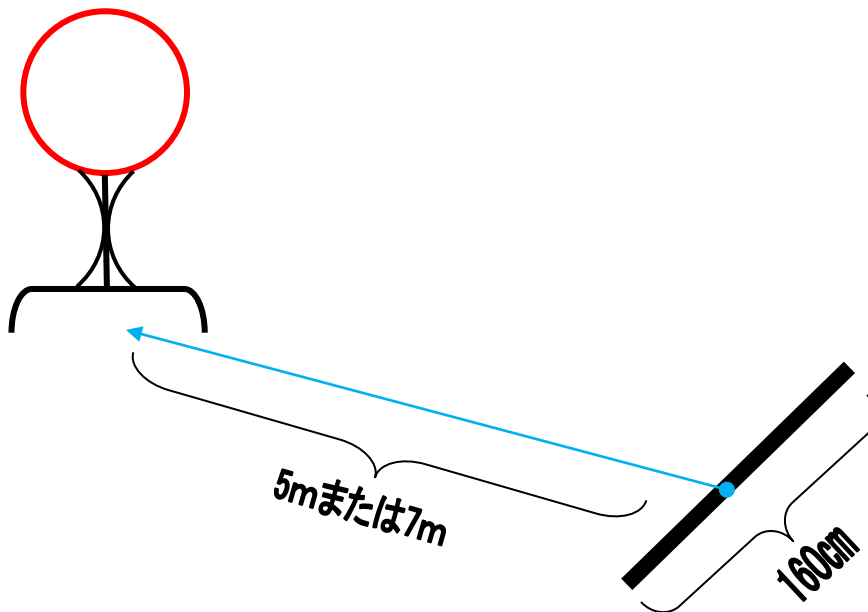
特色

アキュラシーは全国障害者スポーツ大会の正式種目でもあり、コントロールの正確さを競う競技です。円形のアキュラシーゴールに向かってディスクを投げ、そのディスクが通過した枚数を競います。

用具

〈アキュラシーゴール〉 1台 	〈フライングディスク〉 10枚 	〈審判用フラッグ〉 1個 
---	---	---

コート



- (1) アキュラシーゴールを組み立てる。
- (2) スローイングラインを引く。
- (3) スローイングラインの中央からゴールまでの距離は5mまたは7m。

競技方法

- (1) 競技種目
 - ① ディストリート・ファイブ：スローイングラインからゴールまで5m
 - ② ディストリート・セブン：スローイングラインからゴールまで7m

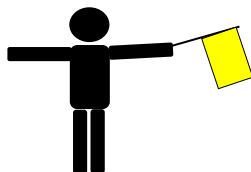
(2) ゲームの進め方

- ①ディスクを10回連続して、アキュラシーゴールに向けてスローイングする。
スローイング方法は自由。
- ②競技時間はプレイヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分とする。
5分以降の試技は認めない。
- ③審判はゴールの後方に立ち、ディスクが通過したらフラッグを上に向け（図1）、ディスクが通過しなかった場合はフラッグを横に向ける（図2）。

(図1)



(図2)



(3) 得点

- ①得点は、アキュラシーゴールを通過した回数の合計。
- ②アキュラシーゴールにあたって通過した場合は得点となる。
- ③逆方向から通過した場合は得点とならない。
- ④得点が同点であった場合は、10回の通過過程において第1得点を先に取得した者が上位となる。
- ⑤得点及び通過も同じであった場合は、3回の再スローイングで順位を決める。

(4) 反則

- ①競技中、スローイングラインに触れたり、スローイングラインを越えた場合は無効とする。
- ②無効となったスローイングは1回として数えるが、ディスクがゴールを通過しても得点にならない。